

SODA地域づくり
活動応援事業

3. 人材育成

◆事業がめざすところ:地域の人材育成と仲間づくりのために用意したセミナー

～活動内容～

第1回地域づくり応援セミナーの実施(市民発電視察～鳥取県～)

テーマ:これからの持続可能な社会をどう描くか(その1)

「エネルギーを自分たちの手に…」

・ローカルエナジー株式会社見学

- ・市民発電とっとり 事業内容の紹介と意見交換会
- ・認定NPO法人ハーモニーカレッジ「空山ポニー牧場」にて市民発電設置状況等視察
- ・鳥取県畜産農協にて市民発電設置状況等の視察
- ・別府電化農業協同組合 別府発電所の見学



第2回地域づくり応援セミナーの実施

テーマ:これからの持続可能な社会をどう描くか(その2)

「withコロナ社会における社会教育の在り方」



◇事業がめざすところ:兵庫県が目指す「参画と協働」の理念に基づき当団体の活動の柱である「市民社会の実現」に向けたNPOと行政の協働会議「これからの島の暮らしを考える市役所」を開催

～活動内容～

第12回これからの島の暮らしを考える市役所

テーマ:これからの社会を描くその1(オンライン&リアルセミナー)

「淡路島の未来ビジョンの議論すべき課題～淡路島と日本と世界との関わり～」

第13回これからの島の暮らしを考える市役所

テーマ:これからの社会を描く(仮題)その2(オンライン&リアルセミナー)

「淡路島の新たな挑戦“将来ビジョンの実践例”」

・地域づくり応援セミナーの実施

……例えば、コロナ禍で、コミュニケーションが取りにくくなっていくなど、地域の課題を多様な市民とともに話し合いこれからの社会をどう描くという仕組みを考える。

…エネルギーは、地域が自立するための大切な要素であるが、これまで、巨大電力会社に任せてきた。しかし近年、自分たちの力で生み出せる時代が来ている。淡路島では、個人宅からメガソーラーまでさまざまな再生可能エネルギーがすでに設置されているが、それらにはまだ「技術的・社会的」な多くの課題がある。そこでこれらに対処する方策を先事例に学び、効果的な実践につなげるきっかけを作る。

島の市役所 (PPP)
Public
Private
Partnership
(官民連携)





地域目標を共有するための「SDGs認証」の構築

1. 事業が目指すところ

「社会的弱者支援」を軸とし、「誰もが役割のある」新たな社会を目指して努力してきたが、今ようやく国連の「誰も取り残さない」というSDGs目標が世界中の関心を引き、急激に動き始めた。この動きに連動して、私たちの活動も一気に加速したいと本プロジェクトを計画した。そのために、まず淡路島の未来を担う中高生に、「淡路版SDGs」の作成を行い、次いでその具体化のために、当事者として取り組んでもらう。それによって、SDGsの単なる学びを越えて、その意味するところを自ら感得し、実践できる若者を育てる。



3. 成果や問題点

- ・SDGs認証に地域住民の関心がどれほど向けられるか
- ・提案を広く受け入れて行動につながるだろうか(特にSODAへの信頼度)
- ・「未来に生きる子どもたち」と一緒に進めていくことから始めてみる。その結果、専門家の問題提起やさらに深めたワークショップなどを通して、子どもたちの感性の鋭さや、我がこととして考えられる姿に、その可能性を見出すことができたし、今後、大きな期待を持つことができた。



2. 活動内容

①作業グループの構築

NPO法人KES環境機構、島内の小学校教諭、高校教師、京都大学SDGs

②SDGs市民向け学習会の開催

「第1回 SDGsキックオフ宣言～SDGs は明るい淡路島をつくるのか～」

「子どもたちとつくるSDGs ～持続可能社会における循環の意味～他(全3回)」(中学校・高校(2校)で開催する。

- ・SODAの取り組みの紹介(社会的弱者への気づき)
- ・専門家による地球の課題整理と未来への警鐘を鳴らす
- ・自分自身で考える時間づくり(子どもたちとのワークショップ)

③「SDGs認証」の新たな評価システムの構築会議の実施(全6回)

- ・南あわじ市との連携を図る。
- ・京都大学環境学堂浅利研との連携を図る。
- ・認証のための判定基準(仮)を作成する。



4. 今後の展望・成果の活用

- ・子どもたちの問題意識を高めるための話題提供や、地域で具体的に取組んでいる方々との出会いの場を作る(島の学校～高校生編～)
- ・SDGsをテーマに島内の高校生と語るフォーラムを開催し、発表の場を用意する。→「SDGs宣言」へ
- 子どもたちの熱い思い(エネルギー)で地域の大人を動かしていきたい。(マスコミで取り上げてもらう)
- ・市役所にも応援を期待し、行政との協働につなげたい。
- ・具体的な取り組みに向けて、子どもたちのこれからの活動を応援していきたい